

DevOpsのこれからと Platform Engineering

2023/09/29

DevOpsとは

- 「顧客に価値を素早く届けるため、開発・運用が協力する、文化的な姿勢・取り組み」のこと [^1](#)
- デプロイまでの流れを高速化し、開発・運用のサイロを取り除く文化が重要
- (企業によってポジショントークがあり、定義が異なるためややこしい)

DevOpsの実践度

- IDC Japanの調査によると、DevOpsの実践率は年々伸びている。[^2](#)
- 2022年の調査では **59.3%** の実践率
- しかし、結論として「ビジネス上の効果が得られている企業は増えていない」とある。

DevOpsの**実践**は難しい

例:DevOps に求められる技術

学習ロードマップとして

```
Programming Language, OS,  
VCS, Containers, Cloud  
Providers, Network,  
Serverless, IaC, CI/CD Tool,  
GitOps, ServiceMesh etc...
```

などが挙げられている。[^3](#)

つまり、DevOpsを落とし込むと、、、

エンドユーザーに届けるまでに多くの技術が関わる

開発者「こんなに
意識しきれな
い・・・」

よくある導入

DevOps Team Silo

^4

- 「DevOpsチームを新しく作ったから、DevからOpsに渡るまでのセットアップはよろしく！」
- マイクロサービスごとにセットアップを任せられる。

DevOpsチーム
「管理しきれな
い・・・」

**デプロイ・運用までを
抽象化できるPlatformが必要**

Platform Engineeringの需要

Platform Engineeringとは

- Garthnerの「先進テクノロジーのハイプ・サイクル：2022年」で登場 [^5](#)
- 開発者体験と生産性を向上させるためにセルフサービスで利用できるツールチェーンとワークフローを設計・構築する分野 [^6](#)

どう変わるのか

開発者は抽象化されたセルフサービス基盤(IDP)でデプロイする [^7](#)

DevOpsや共通基盤を
言い換えただけでは？ 🧐

Platform Engineeringは何が違うのか

- 顧客 = 開発者 として、『価値』を届けることを重視する。
 - 価値: 開発者の認知負荷を軽減する
- **Platformを製品として捉える**。 => 『Platform as a Product』
- ゴールデンプスを用意する [^8](#)

事例

- [開発者向けの基盤をつくる - メルカリ](#)
- [ヤフーで KaaS ベースの PaaS ができるまで](#)

**開発者を補助するための内部Platform
を一つの製品としてデザインする**

忘れてはならない
DevOpsは文化

^9

サイロと文化を改善する

- まず己を知る
 - 組織文化のモデル化と測定
 - [Westrum の組織類型](#)
-

Platformで組織の連携を加速させる

(具体例はまだ思い浮かびません 🙄)

「やりたいことなんてない。これから
見つけられるかどうかもわからない。
でもみんながやりたいことがあるなら
それを援護することはできる」

SHIROBAKO © 「SHIROBAKO」 製作委員

DevOposは愛❤️

※ 蛇足

このスライドは **Marp** という
Markdownをスライドに変換
出来るツールで作っていま
す。[^1](#)

スライドをMarkdownで管理
してみたいそのあなた！
是非お試しを！

参考: [Marp入門～応用 |
markdownでプレゼン資料を楽
に素早く作って発表しよう](#)